

令和7年度 学校経営ビジョン

家庭の教育力

経営理念

地域の教育力

思いやりと活力に満ちた鮎川小学校

学校運営協議会



学校力

教育目標

夢と志を持ち、心身ともに健康で、実践力のある児童の育成

地域、児童の実態、保護者の期待や願い、地域の要請

目指す児童像

自分の頭で考え、判断し、行動する主体的な児童

やる気

元気

根気

確かな学力

豊かな人間性

健康・体力

知 自ら進んで学習する児童

徳 明るく思いやりのある児童

体 じょうぶでがんばる児童

低
中
高

よく聞き最後まで話す児童

誰とも仲良くする児童

みんなと元気に遊ぶ児童

自分で考え進んで発表する児童

友達の気持ちを考え明るく行動する児童

安全に気を付けめあてを持って運動する児童

自分の課題を見つけ追究する児童

友達や下級生に思いやりをもって接する児童

自分のめあてに向かって頑張る児童

「おしか」でも、「しない」でも、「かいいい」でも活躍できる「おとな」に

学校経営の方針

全ての教職員協働のもと、「児童にとって、今日が楽しく、明日も来たくなる学校」「教職員にとって、働きがいのある学校」づくりに努め、児童の主体性を育む。

- (1) 児童一人一人の主体性、良さと可能性を最大限に引き出し、集団の中で他者とともに学ぶ喜びを実感できる授業づくりに努める。
- (2) 児童の自己有用感と自己肯定感を高めるとともに児童一人一人のウェルビーイングの向上を図るために心の教育の充実に努める。
- (3) 児童一人一人が健康と安全に関する資質・能力を高め、自ら適切に判断し、主体的に行動できるようにする。
- (4) 未来の創り手となる児童にとって必要な資質・能力を育むために、家庭・地域社会・学校運営協議会・地域学校協働本部等との持続可能な連携・協働の在り方を探る。
- (5) 働き方改革を進めるとともに、児童に最適な学びを提供するため、「みやぎの教員に求められる資質能力」等を踏まえ、生涯にわたり学び続け、不断に資質能力の向上に努める。
- (6) 施設・設備の有効活用を図るとともに、牡鹿地区小・中学校と連携し教育環境の整備・充実に努める。

努力事項

- ①学習指導の充実 ②学びを支える学級経営の充実 ③志教育 ④心を育てる指導の充実 ⑤児童が自分の居場所を実感できる生徒指導 ⑥健康教育の取組 ⑦学校安全の取組 ⑧地域の良さを生かした特色のある教育活動 ⑨持続発展教育 ⑩地域に開かれた学校 ⑪働き方改革 ⑫ライフステージに配慮した現職教育 ⑬感性を育む教育環境の整備 ⑭牡鹿地区の小・中学校との連携事業の推進

目指す学校像

- ・児童にとって、今日が楽しく、明日も来たくなる学校
- ・教職員にとって、働きがいのある学校
- ・確かな学力を身に付ける学校
- ・地域に開かれ、信頼される学校

目指す教師像

- ・児童に寄り添い、良さを引き出す教師
- ・指導力向上に努める教師
- ・共感と協働の姿勢を持つ教師
- ・使命感を持ち、児童・家庭・地域から信頼される教師